



©Yuki Asada

植物生まれの優しい石けん

南アジアを中心に受け継がれてきたアーユルヴェーダ。身近な植物を使った伝統医療として、何千年もの時を超えて、地元の人たちに親しまれてきた。最近では欧米などにも広まり、おしゃれなエステでも取り入れられている。

そして日本でも、アーユルヴェーダを手軽に楽しむことができる商品が増えてきた。その一つが、植物とはちみつで作った石けん「Sheソープ」。生産者は、バングラデシュとネパールの女性たちだ。

仕掛け人は、認定NPO法人シャプラニール＝市民による海外協力の会。南アジアでの活動を通じて、経済的に厳しい中、家族のために懸命に石けん作りに取り組む女性たちの話を聞いた。

実際に使ってみると、日本人の肌にもよくなじむ。「日本で販売できるように後押ししたい」と、彼女たちの石けんの商品開発に協力することになった。

2つの国では使用する植物と製造方法に少しずつ違いがあり、バングラデシュは保湿力が高く、ネパールは豊かな泡立ちが特徴。パッケージも手すき紙を一枚一枚丁寧に貼り合わせており、手作り感いっぱい。現地の人たちの温かみが伝わってくるようだ。「品質、デザインに魅かれて購入した人に、フェアトレードに興味を持ってもらいたい」と、スタッフの勝井裕美さんは話す。

自然と体に優しい石けん。その泡立ちをぜひ一度試してみしてほしい。



現地での技術指導は太陽油脂株式会社の協力を得て実施。品質は大きく改善した

- ★ Sheソープを4人にプレゼント！→詳細は38ページへ
- ★ Sheソープは、ホームページ(www.shaplaneer.org/she/)から購入可能。

